

言葉がわかる人工知能の最前線にふれる

電氣情報物理工学科 情報コース 乾・坂口・徳久研究室（電氣系1号館6階661号室）

乾 健太郎 教授 (inui@tohoku.ac.jp)

坂口 慶祐 准教授 (keisuke.sakaguchi@tohoku.ac.jp)

横井 祥 助教 (yokoi@tohoku.ac.jp)

社会のあらゆる活動の根幹をなすコミュニケーション、そのための最も重要なメディアは日本語や英語などの誰もが日常で使っている言葉（自然言語）です。本研修では、自然言語で表現され伝達され蓄積される情報や知識をコンピュータで処理するための「自然言語処理」と呼ばれる人工知能技術に関して、研究室メンバーが自身の研究内容を織り交ぜながら紹介します。本研修を通じて「言葉を使いこなす」コンピュータ作りの難しさと面白さ、その可能性に触れてもらいます。

過去のトーク例

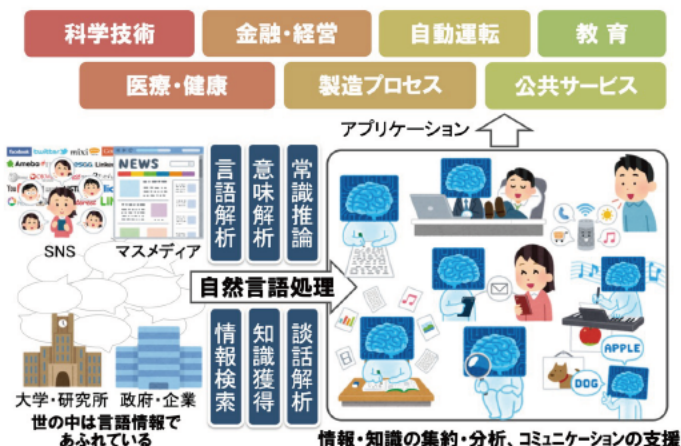
- ① 「行間を読む」ことができる人工知能
- ② 世界で初めて商用化されたAI自動採点技術について
- ③ 最先端のチャットボットについて

研究に関する内容だけでなく、研究室生活や講義に関する雑談も歓迎します。
過去の本研修の活動については、研究室のHPからご覧いただけます。

<https://www.nlp.ecei.tohoku.ac.jp/lec/souzu/>

[illegible]

自然言語処理、活躍の場はあらゆる産業へ



リアルな世界と繋がりながら研究する

